

「予習・授業・復習」を組み合わせ、自分の言葉でいえるように「深い理解」を！  
—「定着・応用・読解力」を組み合わせ、  
医学部医学科・東大・慶大・早大や難関高校・難関中学はじめ第一志望校への進学を！—

開倫塾  
塾長 林明夫

Q 1 : 医学部医学科・東大・慶大・早大や難関校・難関中学はじめ、第一志望校への進学を果たすにはどうしたらいいのですか。

A : (1)まず第1に「自分のしたいこと」、「自分のできること」、「自分が今しなければならないこと」の三つをしっかりと自分の頭で考え、「自覚をもって学ぶこと」です。  
(2)第2に、「予習・授業・復習」の三つを上手に組み合わせ、「そもそも～って何」という「深い理解」を目指すことです。  
(3)第3に、「定着・応用・読解力」の三つを上手に組み合わせ、第一志望校合格を目指し、学校と開倫塾でよく学ぶこと。家庭学習や開倫塾で、毎日夜 10 時半まで自学自習に励むことです。

Q 2 : 第1の「自分のしたいこと」、「自分のできること」、「自分が今しなければならないこと」の三つを上手に組み合わせるとは、どういうことですか。

A : (1)是非、チャレンジしてほしいのは、「しなければならないこと」例えば、大学入試や高校入試、中学入試など入学試験の勉強の「大切さ」難しいことばでいうと「価値」とは何かを自分の頭で考えることです。  
(2)何のために入学試験の勉強をするのかを自分の頭でよく考える、そして納得する。  
(3)よく考えれば、大学入試の勉強は中学・高校での勉強の総まとめです。大学入学前に、高校で学ぶ内容をもう一度学び直し、「深い理解」を得るために受験勉強を行うこの受験の「大切さ」、「価値」がよく「理解」でき「納得」できれば、「自覚をもって学ぶ」ことができます。高校入試、中学入試も全て同じです。それまで学んだことを「深く理解」して第1志望校の高校、中学(公立中高一貫校)に進学するのが受験勉強だと、その「大切さ」「価値」を「理解」、納得した上で、「自覚をもって学ぶ」ことをおすすめします。

Q 3 : 第2の「予習・授業・復習」の三つを上手に活用、「そもそも～って何」という「深い理解」を目指すとはどういうことですか。

A : (1)せっかく勉強するなら「そもそも～って何」「なぜそのようになるのか」「深く理解」し、自分のことばで言うことができるまでにする。  
(2)「深い理解」のためには「授業」だけでは不十分、「予習」と「復習」が欠かせません。  
①「予習」とは、「授業で学ぶ全体像を予(あらかじめ)め知ること」。そして「何がわからないかをはっきりさせて授業に臨む」ために行うものです。  
②小学の高学年、中学、高校の勉強は、内容が徐々に難しく、複雑になってきますので、授業だけでは「各教科の内容」を理解することができません。  
③そこで、授業の前に、教科書に目を通し、その日に学ぶ内容について、自分の力で考えること、よくわからないことをはっきりさせて授業に臨むことです。

Q 4 : 第2の「復習・定着・応用」は何のために行うのですか。

A : (1)「復習」は「予習・授業」で学んだ内容を「深く理解」するために行いましょう。大切

なこと、よくわからないところを中心に、もう一度丁寧に学び直すことで「理解」が深まります。

- (2)「定着」は「予習・授業・復習」でよく「理解」したこと、特に「そもそも～って何」について「深く理解」、自分のことばで言いあらわすために行いましょう。
- ①「教科書」や「ノート」を声を出して読む「音読練習」「書き取り練習」
  - ②書き取り順も含めて正確に書く
  - ③なぜそのような解答になるのかよく「理解」できた問題は、条件反射で正解が出るまでにする
- この3つの「定着のための練習」は大切な知識を身に着けるのにとっても役に立ちます。
- (3)5分間でもOKですから、「予習」をおすすめします。
- ①今日の授業ではどのようなことを学ぶのか、新しく出てくる大事な「ことば」「用語」「原理」「人名」「地名」は何か、などを授業で学ぶ前に注目しましょう。
  - ②そして、興味のある教科だけでも教科書の内容を一語一語丁寧に読み進めてみましょう。
  - ③よく意味がわからないことばがあったら「辞書」や「用語集」「学年別の詳しい参考書」で調べ、調べたことはノートや教科書に書き写し、教科書の内容にふさわしい意味かどうか考えてみましょう。よくわからない文章があったら、アンダーラインを引いておきましょう。
  - ④数学や理科などで例題や練習問題があったらノートに解いてみましょう。なぜそのような答えになったかを考えましょう。
  - ⑤予習で大切なのは、大まかな授業の内容を予め知っておくこと。なぜそのようなのかを、まずは、自分の力で考えてみることです。
- (4)①「大学入試」「高校入試」「中学入試」、など「入試」、「中間試験」、「期末試験」、「学年末試験」などの「検定試験」「国家試験」などすべて試験で役立つのは何か。
- ②「予習、授業、復習」の3つを組み合わせた「深い理解」つまり、自分のことばで学んだ内容を言えるようにすることです。
  - ③「定着・応用・読解力」の3つを上手に組み合わせて行うことです。
- 「応用」のポイントは「よくできないところ」「まちがったところ」について、「なぜよくできなかったのか」「なぜまちがえたのか」を自分の頭で考えてノートにまとめることです。
- また、「読解力」のポイントは、「辞書・新聞・読書・図書館」に慣れ親しんで、学習習慣・生活習慣とすることに尽きます。

#### Q5：最後に一言どうぞ

- A：(1)開倫塾では1979年に創業以来、45年間にわたり「効果の上がる学習方法」を「学習の3段階理論」「理解・定着・応用」としてとりまとめ、塾生の皆様にお伝え続けてきました。
- (2)2024年度「入塾案内」や「開倫塾HPの塾長コーナー」に載せさせていただいておりますので是非ゆっくりご覧ください。
- (3)これとは別に「効果の上がる学習方法」について素晴らしい本が2冊、最近出版されました。「開倫塾指定図書」として選定させていただきます。小学高学年、中学生、高校生も十分理解できますので、是非、買い求め、分かるところだけでもOKですから、何回も何回もお読みいただき、最大活用することをおすすめいたします。
- 篠ヶ谷圭太著「使える！予習と復習の勉強法、自主学習の心理学」ちくま新書、筑摩書房2024年3月10日刊(986円)
- 篠ヶ谷圭太著「予習の科学『深い理解』につなげる家庭学習」図書文化社2022年7月24日刊(2100円)